

平成24年度行政事業レビューシート (環境省)

事業名	ダイオキシン削減対策総合推進費	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度～終了未定	担当課室	廃棄物対策課	廃棄物対策課長 山本昌宏				
会計区分	一般会計	上位政策	4-3一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
根拠法令(具体的な条項も記載)	ダイオキシン類対策特別措置法	関係する計画、通知等	我が国における事業活動に伴い排出されるダイオキシン類の量を削減するための計画					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ダイオキシン類の量を削減するための計画」においては、「国は、廃棄物焼却施設等の各発生源別及び排出媒体別のダイオキシン類の排出量の目録を毎年作成し、公表する」こととなっている。また、ダイオキシン類対策特別措置法第38条では、国は、ダイオキシン類による環境汚染の防止又はその除去等のための施設の設置又は改善につき必要な技術的助言をする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①ダイオキシン類排出実態調査 ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、一般廃棄物処理施設の設置者が測定するダイオキシン類の各種データ等を集計し、対策の進捗状況及び削減状況を把握、公表する。 ②一般廃棄物処理施設の技術管理者に対する講習会の開催 廃棄物処理施設からのダイオキシン類の削減に向けて適切な意地管理の徹底・方法、処理技術の開発状況などの講習会を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	12	12	5	5	5	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	12	12	5	5	5	
	執行額	9	10	2				
執行率(%)	75%	83%	40%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(23年度)	
	一般廃棄物焼却炉排ガス中のダイオキシン類の排出量目標値:平成23年度において52g-TEQ/年		成果実績	g-TEQ/年	36	33	調査中	52
			達成度	%	100	100		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	講習会参加者数		活動実績	人	858	932	—	—
			(当初見込み)			( )	( )	
単位当たりコスト	5,633 (円/参加者数)		算出根拠	22年度契約額(5,250,000円)÷講習会参加人数(平成23年度は実施できなかったため、22年度で評価した)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	5	5					
	計	5	5					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ダイオキシン類の量を削減するための計画及びダイオキシン類対策特別措置法第38条に基づき実施するもの。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、一般廃棄物処理施設の設置者が測定するダイオキシン類の各種データ等を集計し、対策の進捗状況及び削減状況を確実に把握しており、今後とも不可欠な事業である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>大幅な予算減に伴い、いったん契約不調になったが、調査内容の見直しを進める中で、競争性の確保を図る。平成23年度については、震災関連の事業が増大し、本事業費の講習会の開催に関わる事業費を流用したため、講習会の契約を行っていない。なお、平成24年度については例年どおり講習会を実施する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き対策の進捗状況及び削減状況の把握に努めること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
補記	補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		

※平成23年度実績を記入

環境省  
2百万円

自治体調査結果の回収  
データの集約・公表



【一般競争入札】

A. 環境ビジネスコンサルタンツ  
(株)

ダイオキシン類排出状況等調査

調査票発送  
不良データの確認・修正  
データ集計、解析、整理  
報告書の作成

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.環境ビジネスコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査業務	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	環境ビジネスコンサルタンツ(株)	一般廃棄物焼却施設からのダイオキシン類排出実態の調査	2	1	46%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					